



あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2016年2月26日発行 46,370部

● 小学校入学まであと少し ● 嬉しい、楽しいけれどちょっと不安・・・ ● プレッシャーをかけるのと、 ● 応援するのは違います

入学が近づいてきて、子どもの成長を喜び、小学校への期待が膨らんでいる時期だと思います。
新しいランドセルや、入学式の準備、4月以降の生活・・・
その反面、親も子どもも不安があるのも事実ですね。

この時期、幼稚園や保育園では、園生活の集大成と考えられている「発表会」と「卒園式」の練習も盛んになっているのではないのでしょうか。

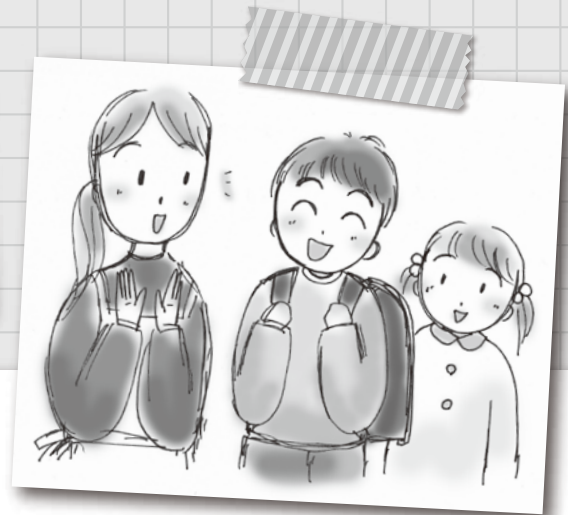
良かれと思って、「小学校に行くんだから」「もうお兄ちゃんお姉ちゃんだよ」というような言葉を掛けつつ、応援していることもあるでしょうが、それがプレッシャーになると逆効果になりかねません。

小学校生活への期待を持てるような言葉がけは大切ですが、プレッシャーを与える言葉がけとは違います。

園と小学校の決定的な違いは、小学校は「勉強をするところ」が前提です。

集団の中で、社会性を学び、コミュニケーションを学ぶ。園では自分の思い通りになっていたことも、小学校になると自分の思い通りにならないことも、たくさん出てきます。

そういうところだということは、生活習慣の中で身に付けていきたいところです。



子どもが、不安に思うことは次の3つが多いと言われています。「勉強」、「トイレ」、「着替え」の3つです。

また、あまり不安に思わないことは、この2つ。「遊び」、「友達」です。

親の不安の多くは、「友達」「勉強」ではないのでしょうか。特に友達は、親自身が人との繋がりや関わりの苦手さや難しさを感じていることが多いため、子どもにそのまま当てはめてしまう傾向が強いように思います。

また親自身が、知り合いがいないという不安を持っていることも多くあります。

親の不安を子どもに反映させないことは大切です。親が不安だけなのに、子どもに「勉強」や「お友達」のことでプレッシャーを与えていることもあります。親の不安は、親自身が解決できるように、情報交換やストレス解消しながら春を迎えたいと思います。

いろんなご相談は、障がい者生活支援センターあっとわんでお受けしています。
子どもへの対応等も、一緒に考えお応えしていきたいと思ひます。

相談専用電話 (月～金 9:30～17:00)
0568-91-5557

かわのゆみこ

多少長く活動を続けていると、ありがたいことに「継続は力なりだね」という言葉をいただくことがあります。確かに、継続していることによって、本当にいろいろな方と出会い、学び、視野を広げさせていただいたことがたくさんあります。しかし、「継続」を「力」に変換するためには「継続」するだけでは意味がないと思ひます。「継続」している長さ」だけでは質と中身までは計れないと考へています。▼長さに比例した質と中身に近づけるためには、事業や活動している分野の「時代の流れを的確につかむこと」と「他人のせいにならない」と「主体的に動き続けること」がまず挙げられるかなと思ひます。これらは、できているようでも、つい自分のやっていることを正当化したくなる時に、見過ごしがちになります。▼そもそも何のために事業や活動をやっているのか？という原点に戻りつつ、軸をしっかり持って継続していくことは常に振り返っていかないといけないと思ひています。そのうえで、長さと質が比例しながら、より良い活動になっていくように思ひます。

あっとわん 春秋